



2025年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
代表者名 代表取締役社長 田中 正文
(コード番号 3787 東証スタンダード)
問合せ先 取締役副社長 出口 眞規子
(TEL. 03-3492-3633)

2025年3月期 業績予想の修正および営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

決算集計状況を踏まえ、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

また、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）において、営業外費用（為替差損）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）

(単位：百万円、円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	735	26	23	17	6.56
今回修正予想（B）	416	△286	△282	△285	△109.91
増減高（B－A）	△319	△312	△305	△302	－
増 減 率 （ ％ ）	△43.4%	－	－	－	－
(ご参考) 前 期 実 績 (2024年3月期)	527	△157	△141	△144	△55.75

2. 修正の理由

売上高は、ライセンス事業で第4四半期の売上として計画していた大型案件の契約が、顧客の開発計画見直しにより延期や失注となったこと、ソリューション事業で見込んでいた開発案件獲得や装置物販売が極めて不振だったことなどから、43.4%の計画未達となりました（未達額：ライセンス事業218百万円、ソリューション事業102百万円）。また、利益面は、売上高の大幅計画未達の影響による下方修正の結果、計画値を大きく下回る損失計上となりました。

なお、2026年3月期の予想につきましては、5月14日発表予定の2025年3月期決算短信でお知らせします。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

当第4四半期会計期間において、外国為替相場の変動により、為替差損7百万円を計上することとなる見込みです。これは主に、当社が保有する外貨建資産の当第4四半期末時点での為替レートによる評価替えにより発生したものであります。

この結果、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）においては、この為替差損と第3四半期累計期間において計上済みの為替差益3百万円との相殺の結果として為替差損3百万円を営業外費用に計上することとなる見込みです。なお、上記の金額は、当社が保有する外貨建資産等の決済及び期末換算レートによる評価替えにより発生したものであります。

以 上

（注）上記の見通しは、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性がありますので、当公表の内容に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えいただきますようお願い申し上げます。